

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度				
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (1)駿府匠宿での地場産品体験学習事業		予算額	5,826 千円			
				決算額	3,579 千円			
	事業概要	<p>本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>(1)駿府匠宿での地場産品体験学習事業 小学生に、ものづくりと地場産品に対する興味を喚起することで地場産業のPRと将来の後継者育成につなげます。</p>		取組状況	事業結果			
	成果目標	目標申込児童数における実際の申込児童数の割合				<p>■申込児童数：2,126人</p> <p>■コロナ禍で、学校からの体験学習事業の申込件数が減少したが、本事業を各学校へ申込案内等の再通知をすることに加え、校長会や教育センターに体験学習に関して情報共有することにより周知を図るとともに、受け入れ体制の状況や地場産品体験学習における新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題を共有するために駿府匠宿との連絡を密にするなど、より多くの児童に体験学習してもらうための対策を行った。</p>		
	17	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	目標申込児童数における実際の申込児童数の割合	66 (%)
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	令和3年度から指定管理者が変わり、開館時間等変更が生じている部分が多いので、学校や関係機関との連絡を密にし、申込時に混乱がないよう調整する。また、未実施校や一昨年度まで参加していた学校に対しても引き続き明確で効率的な周知を行う。
		施策	次代を担う多様な人材の育成					
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)				

事業 17	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度			
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (2)ものづくり教育推進事業	予算額	1,000 千円			
			決算額	953 千円			
	事業概要	<p>本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>(2)ものづくり教育推進事業 小学生が、ホビー産業の歴史等について学び、かつ実際にプラモデルの工作体験をすることによって、ものづくりの楽しさを体験してもらったともに、プラモデルファンを増やし、将来のホビー産業を担う人材の育成に寄与します。</p>	取組状況	事業結果	ものづくりへの関心を高めるとともに、次代のプラモデルファン獲得に向け、市内小学校に対し、プラモデルをテーマにした出前授業を実施。授業を受けた児童の大部分にプラモデルについて関心を持ってもらうことができた。		
	成果目標	プラモデルが好きになった児童の割合90%					
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	プラモデルが好きになった児童の割合90%	84 (%)
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	次年度は、プラモデルに加え、その他静岡市を代表するものづくり産業をメニューに加えていくとともに、対象学年に応じ、キャリア教育的観点から学習する内容とものづくりの面白さを学ぶ内容にメニュー化することで、小学校側が教育的な観点に落とし込み能動的に授業を受けとめられるようにしていく。
		施策	次代を担う多様な人材の育成				
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流				
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
	施策	次代を担う多様な人材の育成					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)	次年度はものづくりキャリア教育推進事業と名称を変更する			

事業 17	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (3)こどもクリエイティブタウンでの職場体験等	予算額	87,803のうちの一部 千円		
			決算額	87,803のうちの一部 千円		
	事業概要	本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。 (3)こどもクリエイティブタウンでの職場体験等 主に小学生を対象にした仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済の仕組みや地域産業を学びます。	取組状況	事業結果	しごと・ものづくり講座などの各事業において、商店街をはじめとした地元事業者等と連携し、こどもに様々な体験をできる場を提供した。	
	成果目標	年間利用者（こども）				
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	年間利用者（こども）： 4,551人
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	施設の利用者の増加に向けて、施設の立地性を活かし、地域（商店街）や企業とのさらなる連携強化を図るとともに、効果的な情報発信に努めていく。 新型コロナウイルス感染症の影響による施設の一時閉館等により、こどもの年間利用者数が大幅に減少した。
		施策	次代を担う多様な人材の育成			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
施策		次代を担う多様な人材の育成				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係	その他 (特記事項)				

事業 17	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (4)プログラミング教育推進事業	予算額	- 千円		
			決算額	- 千円		
	事業概要	本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組めます。 (4)プログラミング教育推進事業 小・中学校におけるプログラミング教育の実施に向けて、教員向けの研修会を行うなど、準備を進めます。	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■小学校プログラミング教育研修会（悉皆研修）５回実施。教科書の内容に即した内容とし、情報モラル分野も取り入れて実施。 ■中学校技術・家庭科（技術分野）において、ネットワークを利用した双方向プログラムについて学ぶ研修を１回実施。 	
	成果目標					
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	子ども・教育	進捗率等	R3.3.31 現在	100 (%)
		政策	学校、家庭、地域が連携し、社会を生き抜く力を持った子どもたちを育てます	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■小学校プログラミング教育研修会については、目的を達成したため、令和２年度をもって終了。 ■令和３年度の中学校技術分野の研修会は内容を変更して実施。
		施策	教育力の向上			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	産業振興プラン位置付け	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
施策		次代を担う多様な人材の育成				
担当課等	教育委員会事務局 教育センター 企画係	その他 (特記事項)	令和３年度に担当係を情報教育支援室に移行			

事業 18	ものづくり 基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (1)若者の就労支援事業	予算額	988 千円		
			決算額	979 千円		
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(1)若者の就労支援事業 就労支援セミナーの開催や、出張相談会・カウンセリング相談を実施することで、働くことに悩む15歳～39歳までの若者（若年無業者）の就労を支援します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■親と若者の就労支援セミナー 開催：2回 参加者：延べ43名</p> <p>■出張相談会 開催：10回 相談件数：延べ16件</p> <p>■臨床心理士による心理カウンセリング 開催：17回 相談件数：延べ70件</p>	
	成果目標	親と若者の就労支援セミナー参加者満足度				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	親と若者の就労支援セミナー 参加者満足度 95.3 (%)
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	引き続き、保健福祉長寿局等関係機関と連携し、対象者の掘り起こしに努めていく。
		施策	次世代を担う多様な人材の育成			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
	施策	次世代を担う多様な人材の育成				
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度			
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (2)若者の地元就職・UIターン就職の促進事業	予算額	16,184 千円			
			決算額	14,932 千円			
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(2)若者の地元就職・UIターン就職の促進事業 地元就職並びに、UIターンを志す若者をはじめ、市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決を図ることを目的として、若者就活応援サイト「しずまっち」等の様々なツールを活用し、若者が市内企業への就職を将来の選択肢として捉えることができるよう取り組みを推し進めます。</p>	取組状況	事業結果	<p>①交流会等の実施回数 6回 ②就職支援情報誌「静岡で働こう。2021」令和3年1月15日約33,000部発行 ③若者就活応援サイト「しずまっち」令和2年度閲覧数228,138件 ④高校生向けキャリア形成支援プログラム 実施校数延べ10校</p>		
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業への就職関心度 ・将来の選択肢が広がった生徒の割合 					
	18	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業への就職関心度 94 (%) ・将来の選択肢が広がった生徒の割合 97.5 (%)
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
		施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出				
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		
	担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度	
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (3)企業OB人材等の活用【再掲】	予算額	1,700 千円	
			決算額	1,569 千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(3)企業OB人材等の活用【再掲】 企業と企業OB人材等とのマッチングの機会を提供することで、企業OB人材等が持つ知識・経験・ノウハウ等を活用し、企業が持つ様々な経営課題の解決を図る取組を推し進めます。</p>	取組状況	事業結果	<p>■新現役交流会の開催 経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験・知識を有する企業OB等（＝新現役）とのマッチングを目的とした交流会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名：第3回 静岡市新現役交流会 ・日時：令和2年10月16日（月）10:00~17:30 ・場所：静岡会場 静岡市産学交流センター ：首都圏イノベーションセンターMICAN ・参加企業数：20社 ・参加新現役数：96名 ・延べ面談数：111回 ・マッチング率：11社/20社≒55%
	成果目標	マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合）			
	18	総合計画の位置付け（分野別）	分野 商工・物流	進捗率等 R3.3.31 現在	マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合）
産業振興プラン位置付け	<p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化</p>	分野 商工・物流	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>新型コロナウイルスの影響により、対面での交流会がこんなんであるため、Zoomを活用したオンライン面談にて実施。その結果、参加した新現役は96名と過去最大となった。このことを踏まえ、次年度もオンライン面談にて実施。多くの新現役が交流会に参加することがマッチング率や満足度の増加に繋がることから、交流会当日に起こり得るトラブルへの対策と新現役参加に繋がる周知活動に注力し、次年度の交流会に備えていきたい。</p>	
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度				
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (4)高齢者就労促進事業	予算額	30,000 千円				
			決算額	30,000 千円				
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(4)高齢者就労促進事業 高齢者向けの就労相談窓口を新たに設置するなど、多くの元気な高齢者が、健康長寿で地域や経済において活躍できる環境を整備します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■行政、経済界、福祉団体等と官民連携して、令和元年6月静岡庁舎2階にオープンしたシニア向け就労サポート窓口「NEXTワークしずおか」を中心に、個別相談、求人開拓等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口での個別相談件数 延1,232件 ・訪問企業数 135社 ・シルバー人材センター新規会員登録者数 83名 ・窓口による事業利用満足度 99.0% ・窓口認知度 32.1% 			
	成果目標	高齢求職者の雇用・就業数 100名/年						
	18	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R 3. 3. 31 現在	高齢求職者の雇用・就業数 100名	183 名
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
		施策	若者や女性、高齢者、障がい者などの雇用機会の創出	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>・コロナウイルス感染症の影響でシニア向け求人数が少ない状況が続いているが、目標達成に向けて求人開拓を進める必要がある。そのため、コロナ禍においてもハローワーク等で求人募集があった企業等に対し、ダイレクトメールでシニアの雇用意向に関するアンケートを送付し、その後の訪問を重ね、1件1件開拓を進めていく。</p> <p>・令和2年度はメディアへの露出が減少したこともあり、PRが十分ではなかったため、今後コロナ禍においても窓口のPR、情報発信を積極的に行い、利用者数を増やす必要がある。出張相談会等の小規模イベントを増やし、実施時には市の広報ツールや求人誌の広告枠等を活用するほか、インターネットユーザーに向けた広告を試験的に実施するなど、効果的なPR方法を検討していく。</p>		
	分野	商工・物流						
	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります						
担当課等	保健福祉長寿局 福祉総務課 生涯活躍推進室	その他 (特記事項)						

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (5)女性活躍ブランド認定事業	予算額	414 千円		
			決算額	280 千円		
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(5)女性活躍ブランド認定事業 企業等において女性が企画・開発した商品等のうち、先駆性の高い優れたものを女性活躍ブランドとして認定し、女性活躍の好事例として広く情報発信することで、女性のモチベーションアップや周辺企業への女性活躍の取組波及等、女性の活躍推進を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■認定件数：8件</p> <p>■情報発信実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> （１）イベント出展・展示 ・ラジオ出演（計13回） ・庁内外における展示（計3回） （２）各種メディア ・テレビや新聞、HP等様々な報道手段による「見える化」 ・認定商品紹介冊子の作成 	
	成果目標	—				
	18	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	— (%)
		総合計画の位置付け(分野別)	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>令和２年度に引き続き、令和３年度も新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントの延期や中止が予想されていることから、その他のPR方法の充実を模索していく。</p>
施策			良質な就労環境の創出			
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流				
	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
	施策	良質な就労環境の創出				
担当課等	市民局 男女共同参画課 男女共同参画係	その他 (特記事項)				

事業 18	ものづくり 基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (5)女性活躍ブランド認定事業	予算額	414 千円		
			決算額	280 千円		
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(5)女性活躍ブランド認定事業 企業等において女性が企画・開発した商品等のうち、先駆性の高い優れたものを女性活躍ブランドとして認定し、女性活躍の好事例として広く情報発信することで、女性のモチベーションアップや周辺企業への女性活躍の取組波及等、女性の活躍推進を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■認定件数：8件</p> <p>■情報発信実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> （１）イベント出展・展示 ・ラジオ出演（計13回） ・庁内外における展示（計3回） （２）各種メディア ・テレビや新聞、HP等様々な報道手段による「見える化」 ・認定商品紹介冊子の作成 	
	成果目標	—				
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	—	(%)
	産業振興プラン位置付け	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	令和２年度に引き続き、令和３年度も新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントの延期や中止が予想されていることから、その他のPR方法の充実を模索していく。
施策		良質な就労環境の創出				
政策		次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
担当課等	市民局 男女共同参画課 男女共同参画係	その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度	
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (6)首都圏の女子学生を対象とした就労支援	予算額	- 千円	
			決算額	- 千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(6)首都圏の女子学生を対象とした就労支援 首都圏へ進学した女子学生を対象に、静岡市内で活躍する女性との交流会を開催し、市内での就職を促進します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■ 1回開催 オンライン開催（当日参加者 県内外大学生1～3年生14人）</p>
	成果目標	就職関心度90%以上			
	18	総合計画の位置付け(分野別)	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出</p>	進捗率等	R3.3.31 現在
	産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等</p>	<p>コロナ禍においてオンラインで実施したが、アンケートでは「企業ともっと話したかった」との声が聞かれたため、対面による実施を含めコロナ禍における効果的な開催方法を検討する。</p>
	担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度	
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (7)働き方改革の実現に向けた環境整備の推進	予算額	2,500 千円	
			決算額	2,500 千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(7)働き方改革の実現に向けた環境整備の推進 働き方改革に取組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等により、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p><ダイバーシティ経営推進セミナー> ■実施回数 5回 経営者向け 1回（参加者64名）分科会 3種（参加者 9・16・17名） 管理職向け 2回（参加者延べ32名） 従業員向け 2回（参加者延べ30名） ■満足度96.5% 経営者向け 97.3% 管理職向け 100% 従業員向け 92.5%</p>
	成果目標	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上			
	18	総合計画の位置付け(分野別)	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 良質な就労環境の創出</p>	進捗率等	R 3. 3. 31 現在
	産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 良質な就労環境の創出</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況によって開催方法を検討し、参加者同士の交流や情報共有の時間を持つことができるような内容とする。また、静岡県等との棲み分けを考慮し、テーマや対象を検討する。</p>	
	担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他(特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業19 若手職人の育成事業	予算額	9,060 千円		
			決算額	4,812 千円		
	事業概要	<p>地場産業界の後継者確保・育成及び新規就業者の定着を図るため、「クラフトマンサポート事業」として財政的な支援を行います。</p> <p>具体的には、短期現場実習、長期現場実習に対する助成に加え、長期現場実習を修了した者を雇用した事業主に対して雇用奨励金を交付する「雇用奨励金交付事業」、新たに職業人として独立した者を対象に建物の賃借料等を補助する「独立支援補助金交付事業」を実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>【R2実施状況】</p> <p>①現場実習短期支援事業 新規1名 ②現場実習長期支援事業 新規2名 継続3名 ③独立支援事業 新規1名 ④雇用奨励金 0名</p> <p>・長期支援については、新規2名を含めた5名が利用し、指導者の下、着実に技術を身に付けている。 ・短期支援の新規1名を開始した。期間中の経過が良好のため長期支援に移行した。 ・独立支援は、H29年度以来3年ぶりの利用があった。 ・独立支援は、2名の新規開始を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、1名は利用見送りとなった。</p>	
	成果目標	<p>新規制度利用者数</p> <p>・長期支援2人 ・独立支援0人</p>				
	19	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		
		施策	次世代を担う多様な人材の育成	事業評価	<p>次年度に向けた改善点</p> <p>・目標の未達成理由等</p>	<p>新規制度利用者数</p> <p>・長期支援2人 ・独立支援0人</p> <p>新規制度利用者数</p> <p>・長期支援2人 ・独立支援1人</p>
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
施策		次世代を担う多様な人材の育成				
担当課等	経済局商工部 産業性悪課 地場産業係		その他(特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和２年度		
	事業名	事業20 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進	予算額	2,500 千円		
			決算額	2,500 千円		
	事業概要	働き方改革に取り組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等、市内企業における仕事と生活の両立や、女性をはじめとした多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。	取組状況	事業結果	<ダイバーシティ経営推進セミナー> ■実施回数5回 経営者向け1回（参加者64名）分科会3種（参加者9・16・17名） 管理職向け2回（参加者延べ32名） 従業員向け2回（参加者延べ30名） ■満足度96.5% 経営者向け 97.3% 管理職向け 100% 従業員向け 92.5%	
	成果目標	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上				
	20	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上 90 (%)
政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	新型コロナウイルス感染症の状況によって開催方法を検討し、参加者同士の交流や情報共有の時間を持つことができるような内容とする。また、静岡県等との棲み分けを考慮し、テーマや対象を検討する。	
施策 良質な就労環境の創出						
産業振興プラン位置付け		分野 商工・物流				
	政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります					
	施策 良質な就労環境の創出					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		方針（６）伝統工芸技術の保存・継承		令和２年度	
事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (1)伝統工芸技術アーカイブ事業	予算額	950 千円		
		決算額	730 千円		
事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(1)伝統工芸技術アーカイブ事業 消失の危機に直面する熟練職人技術を抽出し、映像化や技術工程のサンプル化等により文化として保存し、後世への継承を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■業界調整により保存対象となる1技術を決定し下記を保存することでアーカイブを実施した</p> <p>技術保持職人による技術工程の映像制作： 1本（Blu-Ray 10枚、DVD20枚） 工程サンプル制作：1セット アーカイブ対象技術：錦塗（駿河漆器） 技術保持者：新井吉雄氏</p>	
成果目標	映像化本数：1本				
21	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R3.3.31 現在	映像化本数：1本	100 (%)
		政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■技術保有者の健康状態は今後も確実とはいえないため期間を置かず確実な保存を図っていく必要がある。また各業界により後継者数や職人数など事情が異なるため、事情を把握しつつ調整を行っていく。更にアーカイブ技術は各保有職人個人の技術でもあり安易な公開はできないため、保持者との協議もしっかりと行う必要がある。</p>	
		施策 次代を担う多様な人材の育成			
産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流	政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
		施策 次代を担う多様な人材の育成			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（6）伝統工芸技術の保存・継承		令和2年度			
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承		予算額	1,890千円		
				決算額	1,233千円		
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(2)伝統工芸保存講習会の開催 本市の地場産業界の人材の育成や確保を図るため、地元伝統工芸業界の若手職人を対象に、伝統工芸技術の保存・継承・技術練磨等にかかる講習会を実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■地元熟練職人を講師に、後継者となる若手が受講者となり夜間講習にて開催した 開催部門：木工、拭漆、竹千筋細工、蒔絵（4部門） 参加者：地元業界従事者 23名 ①木工指物の部：令和2年7月～12月（20日間） （受講者）地元木工業界従事者4名 ②駿河竹千筋細工の部：令和2年9月～12月（11日間） （受講者）地元竹千筋細工業界従事者5名 ③拭漆の部：令和2年10月～12月（8日間） （受講者）地元木工業界従事者等5名 ④蒔絵の部：令和2年10月～令和3年3月（20日間） （受講者）地元蒔絵漆器業界従事者等9名 ※漆器の部については新型コロナウイルスの影響により開講を中止</p>		
	成果目標	開催部門：5部門 参加者数：38名					
	21	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	開催部門：5部門 参加者数：38名	開催部門：4部門 参加者数：23名
		総合計画の位置付け(分野別)	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>講師の高齢化による人材不足は避けがたく、中堅職人の選定を増加していく必要がある。また受講者の講座での製作品等の展示会を「産業フェアしずおか」にて開催したところ、受講者のモチベーション向上につながったため、今後も何等かの形で展示の機会を設け参加者の意欲向上につなげていきたい。 開催形式上、蜜になりがちな新型コロナ対策は充分にとられたため、今後も必要に応じ同様の対応をとっていく必要がある。 また、高度な技術継承を求める声もあり、より高度なコースも検討していく。</p>
			施策	次代を担う多様な人材の育成			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	政策			
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)			

事業 21	ものづくり 基本計画	方針（6）伝統工芸技術の保存・継承		令和2年度			
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (3)伝統工芸技術秀士の顕彰		予算額	600千円		
				決算額	500千円		
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(3)伝統工芸技術秀士の顕彰 本市の伝統工芸の技術を継承するため優れた技術の保持者を顕彰し、そのPRを行います。</p>		取組 状況	事業結果	■各伝統工芸業界において高度な技術を有し、伝統工芸展等へ積極的に出展し技術研鑽に励む職人は、高齢化等により大幅に減少している現実の中、指定を見送ることとした。	
	成果目標	秀士の指定者数：1名					
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進歩 率等	R3.3.31 現在	秀士の指定者数：1名 0(名)
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
		施策	次世代を担う多様な人材の育成				
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	■対象者を広げすぎると指定制度の根幹が曖昧になる危惧があり、安易な拡大には問題がある。今後は中堅職人の中で有望視される職人を模索したいが、それでも人的に限りがあるため、その幅を検討していく必要がある。
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
施策		次世代を担う多様な人材の育成					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（6）伝統工芸技術の保存・継承		令和2年度				
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承		予算額	(協議会への負担金) 1,350 千円			
				決算額	(協議会への負担金) 1,350 千円			
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(4)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業【再掲】 中山間地「オクシズ」に漆の木を植林するとともに、漆を採取したり、塗ったりする職人を育成し、地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化を図るとともに、伝統工芸技術の継承を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<p>(4) H30年度末官民で構成される「オクシズ『漆の里』協議会」を設立。都市部との交流促進、生産振興や6次産業化の推進を通じ、静岡の漆文化-「Shizuoka japan」のブランド化を目指します。</p> <p>【令和2年度実績】※協議会事業実績 (調査事業) 試験植樹、成分分析の実施 (付加価値向上事業) 協議会ロゴマークの作成 (普及啓発・人材育成・情報発信事業) 「オクシズ『漆』の学校」の開催、各種イベントへのブース出展、協議会Facebookでの情報発信、協議会HPの制作 ほか</p>		
	成果目標	漆植樹面積 0.5ha						
	21	総合計画の位置付け(分野別)	分野	農林水産	進捗率等	R3.3.31 現在	漆植樹面積 0.5ha	1.34 (ha)
			政策	多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します				
施策		地域資源を活かした新しい産業の創出	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>市内産漆の地産地消を目指し、植樹事業を含む協議会の各種事業を計画的に展開しながら事業のブランド化を図ることで、市民や民間企業等の理解を深めると共に事業継続のための資金開発に繋がっていきます。</p>			
分野	農林水産							
産業振興プラン位置付け	政策	多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します						
担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係		その他(特記事項)	※H31～R3 農水省山村活性化振興交付金事業				

事業	ものづくり基本計画	方針（６）伝統工芸技術の保存・継承		令和２年度			
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承		予算額	((5)地域おこし協力隊配置に要する経費として) 34,172 千円		
				決算額	((5)地域おこし協力隊配置に要する経費として) 19,099 千円		
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(1)伝統工芸技術アーカイブ事業 消失の危機に直面する熟練職人技術を抽出し、映像化や技術工程のサンプル化等により文化として保存し、後世への継承を図ります。</p> <p>(5)地域おこし協力隊による「井川メンバ」の保存・伝承 「地域おこし協力隊」は、その地域に居住してもらいながら、最長３年間隊員として地域おこし活動に取り組んでもらうものです。井川地区の活動テーマは「井川メンバの保存・伝承」であり、現在市内に１人しかいない職人の技術を継承するための取組を実施します。</p>		取組状況	事業結果	<p>(1)「オクシズ『漆の里』協議会」事業※として、かつて市内中山間地で行われてきた漆採取技術の保存・継承のため、現在市内唯一の漆掻き職人・高橋康夫氏による一連の作業の映像記録を作成した。</p> <p>※令和元年度実施 ※事業21(4)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業</p> <p>(5)令和２年度は、活動拠点を井川に移し、メンバ製作技術を磨きながら、本格的にメンバの製造を開始した。製作したメンバは、産業フェアや共生などのイベントで展示・販売を行った。また、従来の井川メンバに蒔絵を施したオリジナルのメンバが全国伝統的工芸品公募展で入選作品に選ばれるなど、伝統的技術を習得したうえで工夫を凝らした製作活動を実施した。</p>	
	成果目標						
	21	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R3.3.31 現在	(%)
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>
		施策	次代を担う多様な人材の育成				
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		
	担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係		その他(特記事項)	※(5)地域おこし協力隊隊員任期はR3年度４月末まで。		